

# メタカラコウ

キク科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

*Ligularia stenocephala* (Maxim.) Matsum. et Koidz.

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

## 形態

茎は高さ60~100cm、無毛。根出葉は大きく長柄があり、葉身は3角形で基部の両端は細とがる。茎葉は3個、上のものほど小さく、葉柄は広い鞘となる。密な総状花序に多数の頭花をつけ、下から上へ咲く。総苞片は5個。舌状花は1~3個あり、花冠は長さ20~25mm、幅3~4mm。そう果は長さ6~7mm。

## 国内分布

本州~九州。

## 県内分布

白山高地区。

## 生態など

多年草、花期は6~9月。

## 生育環境

湿地。

## 危険要因

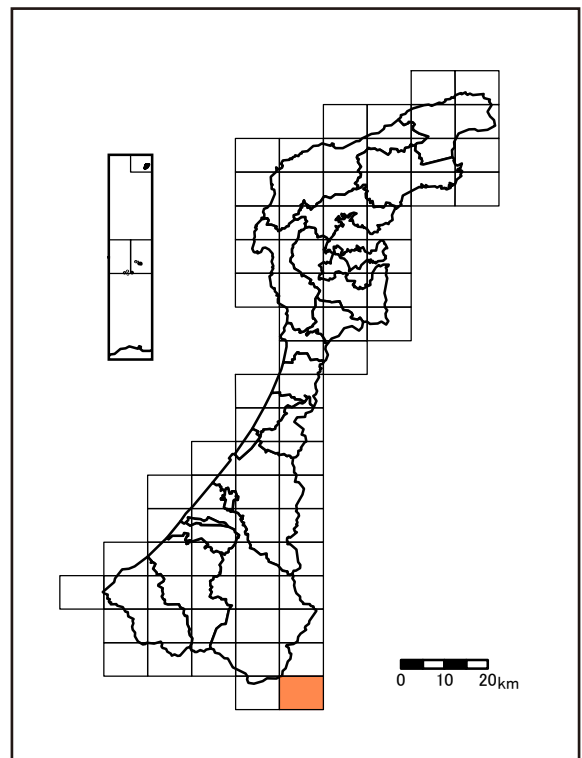
自然遷移、産地局限。

## 特記事項

オタカラコウとの中間型も見られる。近縁のオタカラコウは、総苞片8~9個、舌状花は5~9個。葉身の基部は浅いハート型で左右に開くが先はとがらない。



白井伸和・2006年9月1日・白山



県内の分布